

AI (DX Quest)

1

()

(<https://apol.co.jp/>)

2 MTG



URL QR

<https://forms.gle/uYUzuQew7ePBDGNJ6>

2022 11 ~2023 1 (7 + MTG3)

40 () 2022 11 11 ()


()/ZOOM()


1)

2) Slack


3) Google Colaboratory Google
Google



1: 
11/18()16:00-18:00

2: 
11/25()16:00-18:00

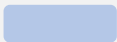
()


3: 
12/2()16:00-18:00

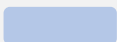
DX Quest

()


MTG
12/9()16:00-18:00

4: 
12/16()16:00-18:00

5: 
12/23()16:00-18:00

6: 
1/6()16:00-18:00

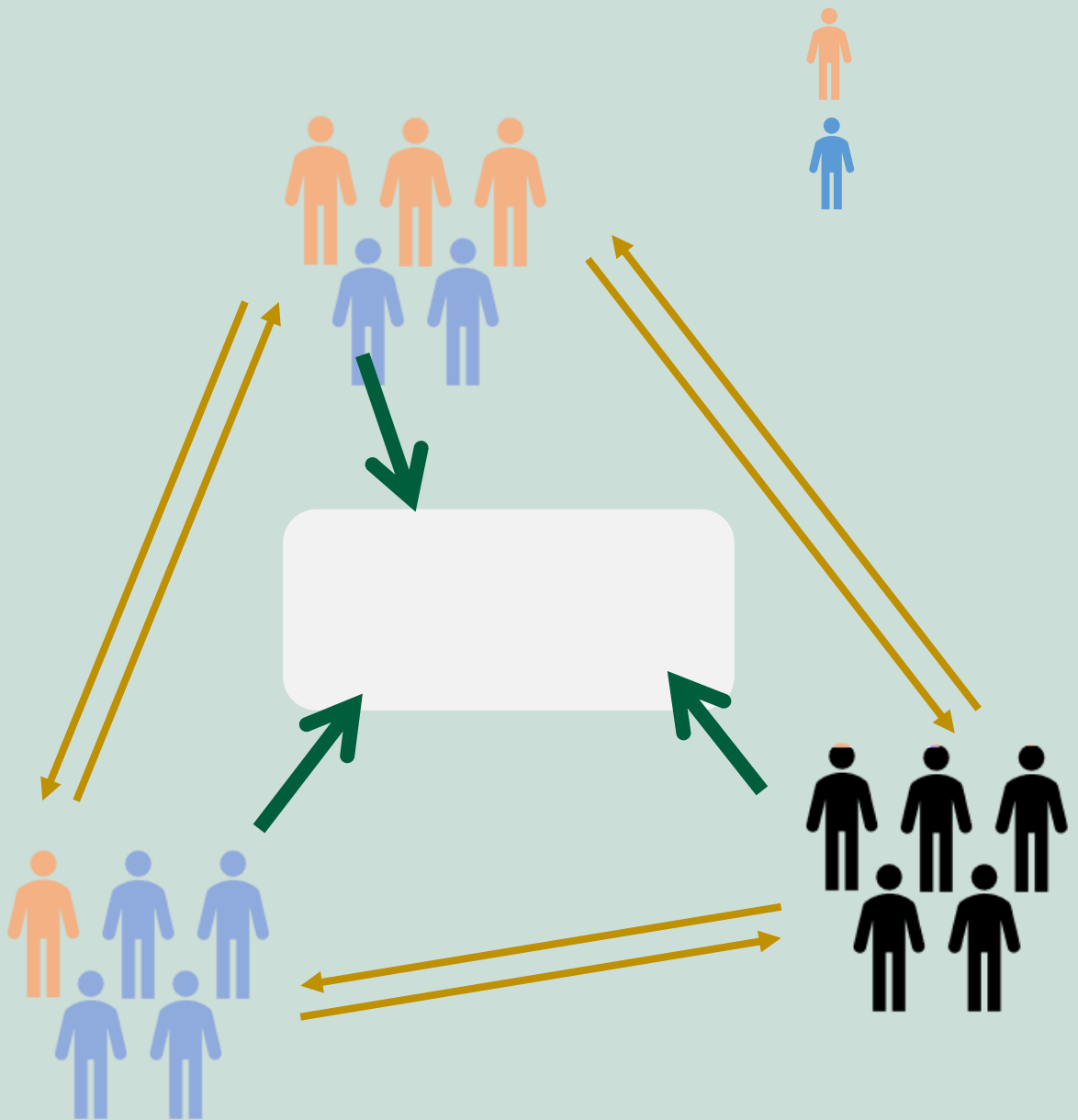
MTG
1/13()16:00-18:00

7: 
1/20()16:00-18:00

AI

()

()





再編は、AIを適用して企業の生産性・業務効率を高めたITソリューションだ。以前はAIベンダー・メーカー・システムとして勤務していたが、AIを本当に必要としている企業に、開発のみならず販売まで行っているという思いが、現在が機立し、プロジェクト単位で様々な企業に相談を受けている。

今回の再編は、顧客がAI知識を簡単に学べる「AIソリューション」を構築する。

「AIソリューション」は、AIを適用して企業の生産性・業務効率を高めたITソリューションだ。以前はAIベンダー・メーカー・システムとして勤務していたが、AIを本当に必要としている企業に、開発のみならず販売まで行っているという思いが、現在が機立し、プロジェクト単位で様々な企業に相談を受けている。

「AIソリューション」は、AIを適用して企業の生産性・業務効率を高めたITソリューションだ。以前はAIベンダー・メーカー・システムとして勤務していたが、AIを本当に必要としている企業に、開発のみならず販売まで行っているという思いが、現在が機立し、プロジェクト単位で様々な企業に相談を受けている。

Story (2/2)

(前編社員)さんによりますと、本編を作った時に、全社の中で取り扱って仕事ができる部長の小嶋君を副編本編に任命して、それ以来、本編のチームに合流して一緒に仕事をしています。特に、小嶋君は、AIを本当に必要としている企業に、開発のみならず販売まで行っているという思いが、現在が機立し、プロジェクト単位で様々な企業に相談を受けている。

「AIソリューション」は、AIを適用して企業の生産性・業務効率を高めたITソリューションだ。以前はAIベンダー・メーカー・システムとして勤務していたが、AIを本当に必要としている企業に、開発のみならず販売まで行っているという思いが、現在が機立し、プロジェクト単位で様々な企業に相談を受けている。



「AIソリューション」は、AIを適用して企業の生産性・業務効率を高めたITソリューションだ。以前はAIベンダー・メーカー・システムとして勤務していたが、AIを本当に必要としている企業に、開発のみならず販売まで行っているという思いが、現在が機立し、プロジェクト単位で様々な企業に相談を受けている。

「AIソリューション」は、AIを適用して企業の生産性・業務効率を高めたITソリューションだ。以前はAIベンダー・メーカー・システムとして勤務していたが、AIを本当に必要としている企業に、開発のみならず販売まで行っているという思いが、現在が機立し、プロジェクト単位で様々な企業に相談を受けている。

「AIソリューション」は、AIを適用して企業の生産性・業務効率を高めたITソリューションだ。以前はAIベンダー・メーカー・システムとして勤務していたが、AIを本当に必要としている企業に、開発のみならず販売まで行っているという思いが、現在が機立し、プロジェクト単位で様々な企業に相談を受けている。



ガイドコンテンツ：モデル特性の把握

把握方法 (参考) ● プロットイメージ

モデル特性の把握においては、予測値と実測値の誤差を、総合的に評価する必要があります。特に、自編の開発においては、以下の点に注意が必要です。

- ① 予測値と実測値の誤差を、総合的に評価する必要があります。
- ② 予測値と実測値の誤差を、総合的に評価する必要があります。
- ③ 予測値と実測値の誤差を、総合的に評価する必要があります。

アンサンブル学習とは、、、

その中でも、代表格がランダムフォレストという手法。今回は、ランダムフォレストを主に紹介します。

- 集合知、三人がれば文殊の知恵的な発想
- 多様な集団は、一人の秀才を超えるような発想
- データの多様な側面を学習した弱学習器を組み合わせて高い性能を発揮する



モデリング+着想 ビジネスに求められるもの

分析力から近づく (ポイント: 仮定や前提)

分析が多ければ仮定の仮定は多くなる

同じ、無理やりである (仮定や前提の活用)

データを加工する、調整する (特徴量エンジニアリング)

解決したい問題に対して柔軟に (教師データの作成)



「ビジネス特化グループ」のアプローチ例:ファクトとロジック

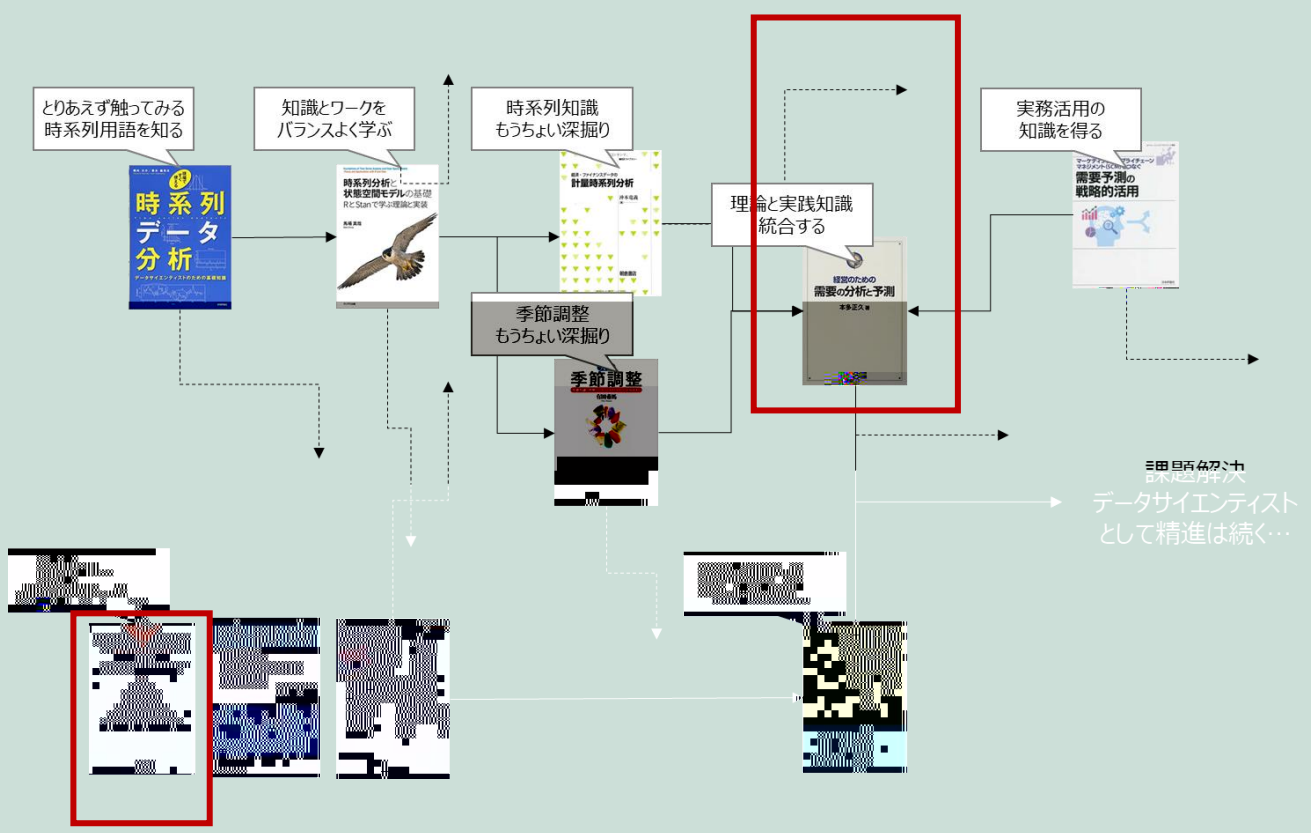
Copyright © 2021 Apollo, Inc. All Rights Reserved.

「分析も少しグループ」のアプローチ例:データの前提

気の利いたデータ処理も行う、

目標のような手法の活用を図る

Copyright © 2021 Apollo, Inc. All Rights Reserved.



	2,178
: R Stan	2,750
	3,960
	3,564
	4,180
	2,750
:	1,980
	3,080
	2,420
	2,200
	2,200